

令和5年度第10回 感染症発生動向調査協議会
議事要旨

1 日 時 令和6年1月17日（水） 14：00～

2 場 所 岐阜大学医学部本館 1階 小会議室（岐阜市柳戸1-1）

3 出席者

委 員 : 馬場 尚志（岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター センター長）

大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科 小児科学 教授）

加藤 達雄（国立病院機構長良医療センター 副院長）

大野 元（岐阜県産婦人科医会 理事）

石山 俊次（石山泌尿器科皮膚科）

オブザーバー：市原 拓（岐阜市保健所 感染症対策課 感染症対策係長）

事 務 局 : 八代 英彦（感染症対策推進課 管理監）

汲田 淳（感染症対策推進課 感染症対策第二係長）

可知 正行（感染症対策推進課 主任技師）

今尾 幸穂（保健環境研究所 疫学情報部長）

岡 隆史（保健環境研究所 主任専門研究員）

4 議 題（進行：馬場委員、STI：大野委員）

- (1) 前月の感染症発生動向について
- (2) 検討すべき課題について
- (3) 情報提供すべき事項
- (4) 情報提供（月番委員専門分野から）
- (5) その他（感染症対策推進課から）

5 議事要旨

【前月の感染症発生動向について】

- ・事務局からの説明は資料のとおり。
- ・月番委員のコメントについては資料のとおり。

【検討すべき課題について】

○COVID-19に関する感染症発生動向調査結果の県民・市民へのフィードバックについて

（インフルエンザにおける対応との比較を含めて）

- ・現状において、COVID-19及びインフルエンザのどちらも定点当たりの報告数は高く、トータルとしての感染リスクはさらに高くなっていると考えられる。感染症をとりまく状況は流動的に変化するので、逐次情報をアップデートし、その情報発信を継続的に行っていく必要がある。